

嘉麻市社協だより

えがぁ

No.120

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX 0948-83-8005 info@kama.syakyo.com

<https://www.facebook.com/kama.swc>

発行日/2016.2.1

おめでとうございます。
ございました。
当選しました。

もしもしオレやけど、
風邪をひいて
声が変わった

おばあちゃん、
困ったことが
おきたので
助けてほしい

お金が
返ってきます

レターパックや
宅急便で
お金を送って

福岡県内での二セ電話詐欺被害
平成27年1月～12月
497件、総額18億4,346万円
1日で約750万円

その電話、STOP!



二セ電話気づかせ隊として啓発活動を行う嘉麻警察署少年補導員連絡会



～法人設立10周年記念事業 支えあいのまちづくりサポーター養成講座 第9回～

児童虐待の加害と被害 ～経験者として

12月11日(金)、夢サイトかほで、第9回の標記講座を開催しました。今回は、女性専用心理カウンセリングOfficeかいカウンセラーの中島晶さんをお招きし、児童虐待の体験を伺うなかで、支え合うこと、つながることの大切さを学びました。



児童虐待と しつけの線引き

児童虐待には、いろいろな定義がありますが、私は、山梨県立大学教授の西澤哲さんによる「子どもより保護者の欲求を優先する乱用的な関わり」であると考えています。

これは、虐待ではない、しつけだ」という方がいますが、どんな気持ちで手をあげているかで違いがはつきりしています。保護者が子どもの存在あるいは、子どもとの関係を利用して、保護者の抱える心理、精神的問題を緩和軽減する行為は、虐待にあたると思います。

助けてと 誰にも言えなかった

私は、子どもの頃、虐待を受けましたが、自分の世界観でしか感じられなかったため、こんなものなんだと受け止め、だれにも話しませんでした。そのことが悪い事ということがわかりませんでした。わかりませんでしたので、親を恨んでもいませんでした。私自身が親になり、自分が

されたように子どもに手をあげていました。そんな時、『アダルトチルドレン』のことが書かれた本に出会いました。『アダルトチルドレン』とは、複雑な家庭環境で育ち、成人した後もそれによって生きづらさを抱えている人のことを言います。自分自身がそれであるとかかった時に初めて、自分が被害者だったこと、母親となつてからは加害者であることに気づきました。

それから子どもへの接し方が変わりました。トラウマの回復のためには自助グループでの分かち合いが有効ですが、他にちょうど良いグループがなかったため、自分で立ち上げました。現在は、その経験を生かし、カウンセラーとして様々な相談を受けています。

孤立だけが 虐待を生むわけではない

虐待という孤立というイメージがありますが、私は子育てグループに入っていて、友人もいたので、孤立してはいませんでした。手作りのおやつやおむつ外しなどを競

い合うようにしていました。きちゃんと子育てしていると思われたかったので、どれだけいいお母さんなのかを外でアピールし、家に帰ると子どもに手をあげていました。

児童虐待に対して 地域でできること

児童虐待件数が増えていることがマイナースに捉えられています。通報件数が増えているのは、悪いことではなく、それだけ助けられた子どもたちがいると思われています。また、虐待は家庭の中で起るので、発見は難しいと思われるのですが、おかしいなと気づくこともあるでしょう。トラブルを恐れ通告しないでいると、子どもが虐待にさらされることを知っています。

子育て中の親子には地域のみなさんの関心が必要です。「虐待している」かどうかより、手助けが必要かどうかを尋ねてあげてください。そして、自分で判断ができないときは、児童相談所の番号189に電話をお願いします。

2015年 12月16日(水)

今日は、業務終了後、第4回職員自主勉強会を行いました。

今回は、水俣病センター相思社の永野三智さんにお越しいただき、水俣病について学びました。

時代背景とともに、水俣病のことや差別されてきた歴史、永野さんが出会った方々について話して下さいました。その中で、特に印象深かったのは「あなたは何をしてきましたか」「何をしていますか」という問いでした。核心をつかれた気持ちになりました。第三者でなく、加害者としての自分と日々向き合わなければならぬと感じました。

(G)



2015年 12月21日(月)

今日、午前10時から口春公民館でそばうち体験が行われました。

この催しは、口春行政区地域福祉部が定期的に行っている料理教室の一環で行ったもので、13名が参加されていました。

初めに、今日の講師を務めた橋本行政区長が、水を入れてかき混ぜる、練る、のばす、切るという一連の工程を実演されました。

参加者の皆さんは、そば打ちをするのは初めての方が多く、動作を覚えようと、区長の動きを真剣な表情で見つめられていました。

その後、2、3人ずつのグループに分かれて、いよいよチャレンジ開始です。

グループの仲間と相談しながら、慎重に作業を進められていました。一つの工程が終わった時のホッとした表情がとても印象的でした。



(T)

2015年 12月24日(木)

今日は、嘉麻北日中一時支援事業所で、クリスマス会を行いました。

終業式を終えた子どもたちが集まり、お昼ご飯はスタッフ手作りの愛情たっぷりシチューをみんなで食べました。今回は、稲築志耕館高等学校の吹奏楽部の方たちが来てくださり、クリスマスソングの演奏を聴きました。きれいな音色でクリスマスの雰囲気も高まり、子ども達も楽しんでいました。

その後は手作り楽器を作った、音楽の時間担当の山戸さんと歌ったり、合奏したりと盛り上がりました。スタッフが扮したサンタクロースからのプレゼントをもらって、みんなとびきりの笑顔を見せてくれました(*^_^*)



(M)

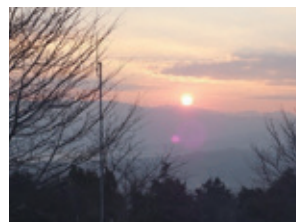
2016年 1月1日(金)

明けましておめでとうございます。

今日は長谷山に登って初日の出を見ました。久しぶりに登ったので頂上に着くころにはすっかり息が上がってしまいました。寒い中、たくさんの方で賑わっていて、頂上では「長谷山を愛する会」の皆さんがイベントの準備をされていました。日の出が近づくと、その瞬間を今か今かと待ち、きれいな太陽が見えた瞬間、とても清々しい気持ちになりました。

それまでの疲れが一気にとんだ瞬間でした。

皆様にとって良い一年となりますようお祈り申し上げます。今年もよろしくお願いいたします。



遺言書の保管者である成年後見人は、相続が開始すると、遅滞なく家庭裁判所に遺言書を提出し、検認の申し立てをしなければなりません。検認とは、遺言書の存在および内容を確かめるために調査をすることです。



A

成年後見人Aさんの夫Bさんが亡くなりました。生前、Bさんが書いた遺言書を成年後見人が預かっていました。この時、成年後見人は、どのように対応すればよいですか？

Q



成年後見制度 Q&A



寄稿

貧困などで生きづらさを抱える ユース(若者)に自立と夢の実現を!

一般社団法人 ストリート・プロジェクト 理事長 坪井恵子さん(福岡市在住)

現在、子どもたちの6人に1人が貧困状態に陥っていると言われていています。助けを必要としている状況かわからないことが多いため、子どもたちは孤立し、様々な悩みを抱えています。

そこで、今号は、貧困で悩む若者を支える活動をしている坪井恵子さんから、寄稿いただきました。

子どもの貧困をどうとらえたらいいのか、どういうところが問題なのかをみなさんと一緒に考えていきたいと思いますので、ぜひご意見をお聞かせください。

振り返れば今から9年前の12月「行きたい高校はない。行っても多分辞めるけんお金の無駄」と娘。「まあ、行きたくなったら行けばいい」と夫と私。この短い会話で小学校の先生になるのが夢だった娘の中学が決定。非行関連の自助グループで高認(旧大検)と県外の高認塾の存在を知り、「娘がその気になればいつでも進学できる良い資格」だと親として安堵しました。と同時に中卒・高校中退の子どもたちのために何かしたいと考えるようになり、高認塾設立を決意しました。

しかし、思いはあってもなかなか実現するのは難しく何度も諦めそうになりましたが、SNS*で繋がったある方の全面的な協力により、また、ご自身が困窮から勉強のおかげで抜け出すことができたという経験をお持ちだったこともあって、2009年5月に困窮する中卒者(高校中退)のための無料塾としてスタートすることができました。そして、活動が続けるうちに、貧困だけではなく両親の離婚・再婚などにより生活の保障がされず進路も阻まれる中、自己肯定感も低くなり、親との絆を感じられない、心のよりどころがないな

ど学習支援だけでは彼らの手助けには事足りない、活動を広げるためには更なる支援が必要だと考え、2010年8月に法人を設立しました。ハウス内で学習指導やさまざまな作業をしてくださるボランティアさん、活動を外側から資金面等で支えてくださる地元始め全国の皆さんのおかげで、活動が続けられています。

塾で始まった活動ではありませんが、勉強だけが入口ではハードルが高く、来づらいユースもいると思い、無料で学び・食べ・泊まることのできる『ごちハウス』にしました。

また、6年間で中卒者に限ったの受け入れでしたが、高校を絶対に卒業して欲しいので1年前から現役の高校生も対象にしました。

高認資格を取っても進学費用や生活費を準備してくれる人がいない彼らに、まずは食べることでできる職業として「看護保育・介護」の道を勧めています。たまごの会は、現職の先輩やストプロOBを囲んでご飯を食べながら仕事について本音で語り合う場です。

今がどんな状況にあっても、誰かの、みんなの力を借りて「自分の選んだ人生」を

踏み出そうと声をかけながら、今後も「ユースが主役」の考えを大切に伴走活動を続けます。

※SNS(ソーシャルネットワークサービス)人と人とのつながりをサポートするコミュニケーション型のウェブサイト

プロフィール

1960年島根県松江市出身。国立音楽大学卒業。

出版社、法律事務所勤務後結婚。未婚で不登校になったため、自営を辞め専業主婦に。その娘が高校受験をせず中卒になったことをきっかけに困窮者のための高認(旧・大検無料塾)★まなび舎1525を設立。2010年8月法人設立。

2014年4月ストプロの活動の場「ごちハウス(愛称)をオープン。ユースの貧困と孤立を防ぎ解消し、自立と夢の実現を」を指して教育・経済・メンタル面での伴走者として活動中。保護司。





研修会のご案内

テーマ 刑務所を出所した方が、
地域の一員として生活していけるように
～深めよう 司法と福祉の連携～

更生保護の問題について学びながら、誰もが排除されない地域社会の実現に向けて、わたしたち一人ひとりに何ができるのか、またどうしたらよいのかを、市民のみなさまと一緒に考えていきたいと思います。ぜひご参加ください。

日時 平成28年2月29日(月)
13時～16時20分(受付開始12時30分～)

会場 夢サイトかほ 文化ホール
(嘉麻市大隈町1228番地1)

参加費無料

講師 第一部…福岡刑務所分類審議室福祉専門官
中川典子さん
第二部…法務省福岡保護観察所飯塚駐在官事務所
上席保護観察官 北川皇史さん

申込締切 平成28年2月24日(水)まで
お問合せ先 かま自立相談支援センター
TEL 0948-43-4751



地域支えあい事業 協力会員募集

地域支えあい事業は、市民の方が抱える悩みや困りごとを同じ市民の方の協力によって、解決していく「助け合い」の活動です。困った時はお互い様の気持ちで、助け合い、支え合うことによって、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるまちづくりをすすめていくものです。

現在、ちょっとした困りごとに対応していただける協力会員を募集しています。なお、協力していただける方には、協力手数料をお支払いいたします。

詳しい内容については、下記までお問い合わせください。

記

主なサービス内容

快適日常サービス…ごみ出し、話し相手など
いきいき家事サービス…住居の掃除、洗濯など
快適専門サービス…低木の剪定や草とりなど
すくすく育児サービス…産前産後の手伝い、家事援助など

参加者募集のご案内

在宅介護者の集い

在宅で介護をされている方々が、いろんな情報交換をし、楽しくリフレッシュしています。

2月18日(木)

稲築住民センターにて
(石崎1-43番地3)

3月10日(木)

山田ふれあいハウスにて
(上山田502番地6)

※時間はいずれも13時～15時までです。

ひきこもり家族の集い

ひきこもりの家族を持たれている方々と、いろんな悩みを話したり、情報交換をしたりしていきます。

2月25日(木)

3月24日(木)

※時間はいずれも13時30分～15時30分までです。

フリースペース

家から一歩外に出て自由に過ごせる居場所です。話をしたり、パソコンをしたり、思い思いに過ごしています。

毎週木曜日13時30分～15時30分

2月4日、18日、25日

3月3日、10日、17日、24日、31日

※ひきこもり家族の会、フリースペースの開催場所はいずれも寄つてハウスです。



《お問い合わせ先》 嘉麻市社会福祉協議会 TEL 0948-42-0751 Email: tiiki@kama.syakyo.com

社協だよりクイズ

「読めば答えが見つかるかも」

「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に、図書券(千円分)をプレゼントします。

問題

2ページのVoiceで、中島さんは何を回復するために自助グループを立ち上げたでしょうか。

- (1)トラウマ
- (2)フラストレーション
- (3)ストレス

応募方法

①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、2月29日(必着)までにハガキ、またはEメールにてご応募ください。

送付先

〒820-0205
嘉麻市岩崎1-43番地3
嘉麻市社会福祉協議会
E-mail: tiiki@kama.syakyo.com

前号のクイズの答え (3)

水俣の方が恵を受けていた魚がたくさん獲れる海は不知火海です。

応募のあった方から社協だよりの感想をいただきますので、紹介します。

「炭鉱の記憶」や「ふるさとへの手紙」每回楽しみにしています。各記事も良いと思います。「ありのままの自分で生きたい」「深く考えさせられました。死にたいと思いつめるほど苦しんでいる方がいるんですね。LGBTをテーマにしたドラマでも考えさせられました。」

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

かま ボランティア・市民活動センター情報

もちつきで交流を深める

昨年12月12日(土)、社会福祉法人嘉穂の里が、また今年1月10日(日)にはほのぼのサークルはぐるまが餅つき会を開催し、かまボランティア・市民活動センターを通じて、延べ13名のボランティアさんが参加しました。

一口に餅つきのボランティアと言っても、かまどの火を調整する、蒸し具合を確認する、もちをつく、つく人に合わせてもちを返す、丸めるなど様々な役割があります。

ボランティアの皆さんは、自分の得意なこと、できることで活動しながら、会場の方々との交流を深めていました。

このようにボランティアは自分のできること、長所を生かしてできる活動がたくさんあります。かまボランティア・市民活動センターでは、その方にあった活動を探したり、創るお手伝いをしていますので、ぜひご利用ください。



ボランティア活動保険のご案内

ボランティア活動保険は、活動中における自身の怪我や他人の体や物に損害を与えてしまった場合など、万が一の事故を補償するものです。

加入されている方は保証期間が平成28年3月31日で満了となります。28年度の加入については、3月から受け付けますので、更新の手続きをお願いいたします。

なお、内容によっては、保険の対象とはならない活動もありますので、詳しくはセンターまでご相談ください。

保証期間

平成28年4月1日～平成29年3月31日まで

※4月1日以降に加入された方は加入日の翌日からの適用となります。

年間保険料

基本タイプ Aプラン300円 Bプラン450円

天災タイプ Aプラン430円 Bプラン650円

※天災タイプは基本タイプに加え、地震や津波、噴火による怪我も補償します。

加入条件

かまボランティア・市民活動センターへの登録が必要です。

ボランティア情報

水泳ボランティア

ふぁん・ファン・funでは、小学生を中心とした障がいをもつ子ども達と一緒に水中でのレクリエーションの補助をしていただける方を募集しています。

記

日 時 ①平成28年2月27日(土)
②平成28年3月26日(土)
※いずれも10時30分～11時30分

場 所 山田サルビアパーク(嘉麻市上山田352)

内 容 水中レクリエーションの補助

募集締切 ①2月12日(金)、②3月11日(金)

備 考 水着、タオル、水泳帽子をご用意してください。活動後は軽食を準備します。

児童デイサービス レクリエーションのサポート

社会福祉法人翼会 つばさ学園では土曜日、日曜日に障がいをもつ子どもたちと一緒にレクリエーション活動などをしていただける方を募集しています。

記

日 時 土曜日、日曜日 午前9時～午後4時
※可能な曜日や時間帯で構いません。

場 所 つばさ学園
(嘉麻市下白井1012番地3)

内 容 障がいをもつ子どもたちの遊び相手

備 考 時間が昼をまたぐ場合は食事を準備します。

お問い合わせ先・お申し込み先：かまボランティア・市民活動センター ☎0948-42-0751

今月の

一冊



14歳からの戦争のリアル



著者：雨宮処凛
出版社：株式会社河出書房新社

この本には、著者の雨宮処凛さんが、戦争をそれぞれの立場で体験された8人の方に取材された内容がまとめられています。イラク戦争に参加した元アメリカ海兵隊員、太平洋戦争時、南洋のトラック島で多くの仲間を餓死で失った元軍人、自身が戦場出稼ぎ労働者となつて、イラクに潜入したジャーナリストなど、どの話からも緊迫した現地の様子が伝わりま

す。そして、戦争は現地だけで起きているのではなく、イラクでは、劣化ウラン弾の影響で生まれつき重い病気や障がいをもって生まれてくる子どもがたくさんいること、イラク戦争から帰還した兵士は、PTSD（心的外傷後ストレス障害）で苦しんでいる人が多く、帰国後の自衛

隊員の中からも自殺者が出ていることなど、尊い命が奪われ続け、負の連鎖が続いている現状が書かれています。読み進めていく中で、2003年から始まり今も混乱した状況が続いているイラクのことを、テレビの向こう側の出来事として捉えてしまっていた自分に改めて気付かされました。集団的自衛権についても詳しく説明されていて、決して遠くの国で起きていることではないという危機を感じるとともに、このままではいけないという思いが溢れました。戦後70年、たくさんの眠れぬ夜を過ごす方々がいらつしやることに思いを馳せ続け、武力に対して武力で解決しようとしていることを改めて考え直さなければならぬと思います。

本の中で語られている方の言葉にもありましたが、自分にできることは、知ること、そして「自分だったら」と考え続けること。そのことが、政治や法律の問題を考えることにつながり、それが生きづらさや自分のまわりの生きづらさを抱えた人のことを考えることにつながっていくと思います。

(みぞくち)

3月の総合相談

法律相談は予約が必要です。先着順となっておりますので、お早めにお申し込みください。

法律相談

と き：3月3日(木) 13:00~16:00
ところ：山田ふれあいハウス

と き：3月17日(木) 13:00~16:00
ところ：稲築住民センター

心配ごと相談

と き：3月9日(水) 13:00~15:00
ところ：稲築住民センター

と き：3月23日(水) 13:00~15:00
ところ：稲築住民センター

嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751

炭鉱の記憶

No. 107

昨年の赤い羽根共同募金の街頭募金の際に、一緒に募金の呼びかけをしてくださっていた西原正俊さんが「黒い羽根募金」があったことを教えてくれました。黒い羽根は、赤い羽根共同募金からヒントを得て、作られたもので、「黒」は石炭の色を表しています。

昭和25年頃、世界では、石炭から石油へとエネルギーの転換が図られ、石炭産業は不況に陥ります。そして、昭和30年には、日本でも始まりました。筑豊地区においても中小の炭鉱は次々と姿を消し、その労働者の多くが、職を失うことになりました。主な収入源を失い、経済的に困窮する家庭が一気に増えたそう、当時小学生だった西原さんの記憶にも、当時の様子が鮮明に残っているそうです。

そのような状況の中、昭和34年から翌年にかけて、炭鉱の離職者とその家族への支援を目的として行われたのが黒い羽根募金運動です。

西原さんが「お金を集めていたというよりも、物を集めていた記憶がある」と言われるように、お金だけでなく、食糧や衣料品なども集めて、配給されていたそうです。

助けあいの気持ちから福岡県で生まれたこの活動、支援の輪は、全国へと広がりました。

炭鉱時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。嘉麻市社会福祉協議会までご連絡いただければ幸いです。

☎0948(42)0751

法人運営 INFORMATION

法人設立10周年記念式典を開催します

今年度は、嘉麻市社会福祉協議会が発足して10年という節目の年にあたります。そこで10周年記念式典を開催しますので、ぜひご参加ください。

日 時 平成28年2月11日(木)
13時～16時(受付:12時30分～)

会 場 なつき文化ホール(嘉麻市岩崎63-8)

第1部:記念式典(記念表彰)午後1時～午後2時

第2部:記念講演 午後2時10分～3時40分

・テーマ「居場所の力～生きているだけですごいんだ～」
不登校・ひきこもりの現場から
・講 師 NPO法人 フリースペースたまりば
理事長 西野博之さん

嘉麻市社会福祉協議会では、下記の通り理事会を開催しました。

記

第50回理事会 《開催日》平成28年1月15日(金)

【議案第147号】任期満了に伴う評議員の改選について

【議案第148号】法人設立10周年に伴う表彰について

【議案第149号】かま障がい者地域生活支援センター
運営規程の制定について

【議案第150号】特定個人情報取扱規程の制定について

【議案第151号】介護保険制度の改正に伴う運営規程の
一部改正について

【報告第 42号】感謝状の授与について

【報告第 43号】会長専決処分について

【報告第 44号】職員の不始末事案について

山田ふれあいハウスからのお知らせ

山田ふれあいハウスでは、新しい書籍を購入しました。人気がある将棋や囲碁の本など、幅広く揃えましたので、お気軽にご利用下さい。

新しく購入した本

- ・3手詰将棋 ・逆転力のつく詰碁
- ・栄養の基本がわかる図解事典
- ・人生という作文
- ・気象、天気の新事実 など



2階に開設している子育てリユースセンターでは、子ども服の品数が少なくなってきました。ご家庭で使わなくなった冬物、春物の洋服、中学校、高校の制服がありましたら、ぜひお寄せ下さい。



連絡・問い合わせ先／山田ふれあいハウス 嘉麻市上山田502番地6 TEL 0948-52-1847

嘉麻市
社会福祉協議会指定
葬祭場紹介

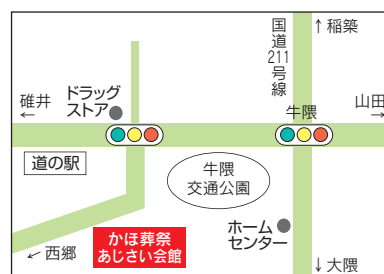
かほ葬祭 あじさい会館

嘉麻市西郷150-1 ☎ (0948) 62-5566

かほ葬祭では、もしもの時に安心の「あじさい会」会員を募集しております。会員とご家族の方は、多くの無料・割引特典がご利用いただけます。

また、2015年10月より第2斎場として桂川町土師28-254(旧千尋会館)にて新規あじさい会館桂川斎場として開設しました。(電話は上記と同じです)事前相談・家族葬などの相談も承っておりますので、お気軽にご相談ください。

葬儀申し込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会指定をお願いします」とお伝えください。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。



嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、かほ葬祭 あじさい会館を含め、市内に8ヶ所あります。

善光会館 稲築会場…………… ☎83-5000	ひさつね会館…………… ☎52-0758
おかむら葬祭岡村会館…………… ☎42-4420	いすや会館…………… ☎57-4444
飛鳥会館 南斎場…………… ☎42-4241	セレモニーホールおおつか…………… ☎52-1212
きど葬祭やまさ碓井斎場…………… ☎62-4499	

みなさまの善意、心より厚く、
お礼申し上げます。

香典返し・寄附

12月1日～12月31日受付分

●香典返し

【漆生本村】

親族 野見山 光 様

故 野見山 岩 夫 様

親族 松熊 久子 様

故 松熊 光雄 様

【神幸】

親族 植上 恒次郎 様

故 植上 歌子 様

【大橋】

親族 久保山 昭文 様

故 久保山 フクエ 様

【中央】

親族 林田 裕子 様

故 林田 英行 様

【上西郷】

親族 篠原 章寿 様

故 尾形 シマ子 様

【桑野】

親族 柿坂 繁男 様

故 柿坂 モエ 様

【宮吉】

親族 田中 勝則 様

故 田中 ミサヲ 様

【飯田】

親族 永吉 逸子 様

故 永吉 雄治 様

【飯田】

親族 山中 久美代 様

故 山中 俊二 様

●寄附

【一般寄付】

下白井西 古瀬 都 様

木目込み人形教室 むつみ会 様

嘉穂の名水愛好者一同 様

【子育てリユース】

飯田 松隈 明美 様

上半隈 安河内 隆 様

飯塚市 廣瀬 陽子 様

飯塚市 奥田 文美 様

飯塚市 笛田 和美 様

【アルミ缶】

漆生本村 匿 名 様

漆生南部 岩田 勇治 様

漆生南部 西田 幸子 様

漆生南部 市原登志彦 様

漆生南部 西岡 聖 様

漆生第一 花村 誠市 様

漆生東 匿 名 様

枝坂 久家 浩史 様

枝坂 森 章枝 様

六四田 松田 敏雄 様

百々谷 橋本 利根 様

木城 笹尾 航希 様

中央 明石 睦則 様

中央 大田 信 様

猪之鼻 菊池 春政 様

立石 矢野 千恵 様

石ヶ崎 渡邊美千代 様

石ヶ崎 渡邊美千代 様

上西郷 山口 春雄 様
九郎原 匿 名 様
宮吉 匿 名 様
鴨生第一行政区 様
嘉麻市身体障害者福祉協会 様
稲築支部 様

【リングプル】

漆生中央 田中茶舗 様

樋渡 藤春 一枝 様

鴨生北町 山崎 恵子 様

下白井西 田中ともえ 様

六四田 松田 敏雄 様

熊ヶ畑第一 笹尾 五重 様

中央 明石 睦則 様

蛭子 武田 悦子 様

石ヶ崎 國武美千代 様

石ヶ崎 桃崎 晃大 様

石ヶ崎 桃崎 奏大 様

石ヶ崎 渡邊美千代 様

古河 甲斐 良子 様

カトレアサークル 様

長円寺仏教婦人会 様

石ヶ崎シニアクラブ 様

夢サイトかほ 様

嘉穂洋瓦(有) 様

【古切手】

鴨生北町 山崎 恵子 様

熊ヶ畑第一 笹尾 五重 様

教育ナビゲーション(株) 様

嘉麻市福祉事務所保護課 様

長円寺仏教婦人会 様

夢サイトかほ 様

【アルミ】

古河 塚原 京子 様

あなたの会費が、社協の
地域活動を支えています

会員として、次の方々に
ご加入いただきました。

(敬称を省略させていただきます。)

12月1日～12月31日受付分

《漆生中央》山下久美子

《鴨生第二》鴨生第一行政区(20口)

《鴨生第二》匿名

《鴨生町》田村柳子、荒木征男、坂口十七子(4口)、入江敏夫、小島

レイ子、大屋善則、川畑千秋、山本

泰三郎、上村美保子、尾畑澄子、

中村剛、有吉伸二、滝本恭弘、田

中早人、高橋信行

《鴨生北町》中須サカエ、市丸ミ

サヲ、村崎本予、山崎恵子、中村

稔、岩井みさお、野北ひさ代、内

藤哲雄、井上千恵、小野広子、佐

潟今美、梅木としこ、斉藤スミ子

《熊ヶ畑第三》大田竜司

《ゆうが丘》古賀利男

《長野》梶嶋周介

《中山田上》石橋運、瓜生誠子、中

村市治、松岡孝子、山崎秀二

《新原》吉田美代子、岡本晃、水江

元子、中山和子、谷岡福生、高木満

枝、美根福市、内山敏義、山本茂

子、岡本璋博、川波ハルヨ、飯川春

生、秋澤城浩、酒井照正、石倉幹

代、坂本留里子、林勝、岡本喜久生

《出川》頼金豊子

《上町》片峯信仁

《大力》松岡佳子

《宮吉》徳丸智加

今月のえがお

最近「えがお」になった
出来事を
教えて下さい!!

家族みんなでボウリン
グに行きました。最初は難
しかったけど、どんどん上
達して嬉しかったです。ま
た、行きたいです。



藤田 嵐さん



満田 郁美さん

宮地嶽神社でおみくじ
を引いたら大吉がしまし
た。今年はいいい年になりそ
うです。

ふるさとへの手紙 No.120



福岡県田川市
在住
中村恵美子さん
飯田出身

忘れられない思い出

昭和二十四年四月。まだまだ何も無い不自由な時代。洋服店を経営していた父が、雑嚢(雑物を入れて肩や腰にさげる袋)を解いてランドセルを作ってくれました。椿の花のアップリケのあるランドセルを背負い、私は二年生になりました。学校はまだ、建て替え前の古い校舎でした。

一、二年生の担任の砂川先生は、若くて素敵な先生でした。よく四、五人の友だちと先生のお家に遊びに行った思い出があります。

三年生になった頃、今でも心に残る思い出があります。野見山都先生が担任でいらした時の事です。その日はお昼に、全校一斉の避難訓練があり、サイレンと共に全校児童が運動場へ避難しました。皆でフワフワ言いながら運動場に集まりました。皆が

避難した後に、先生は各教室やトイレ等を見回られ、点検されたのです。私たちのクラスには、松葉杖をついた男の子がいました。その子がトイレに隠れているのが発見されたのです。クラス全員、すぐく叱られました。「どうして、みんなで連れて出てくれなかったのか」と、野見山先生は大変、嘆かれました。

その時は、自分だけ避難すれば良いと思い、人の事など思いません。余裕もなく、本当に幼かったなと思います。その男の子は、人に迷惑をかけないようにと思い、トイレに隠れたのでしょうか。もし、お会いできるなら、「ごめんなさい」と謝りたいと思っています。この年になっても、三年生の時のこの苦い思い出は忘れる事ができません。

しかし、この苦い思い出があったからこそ、周りの人の事を考える大切さを学ぶ事ができました。故郷は、私にたくさん事を教えてくれました。故郷、旧碓井町飯田を出て五十年。その二つの思い出と教えるは、今も私の人生の宝物です。

これからの嘉麻市が、益々発展されます事を心より望んでいます。

コラム 交差点

私は笹原の炭鉱住宅で育ちました。

そこで苦楽を共にした友人たちは、閉山後バラバラになりました。「えがお」のふるさとへの手紙のコーナーには、時々当時の友人たちが登場します。

私は、当時のことをあれこれと思い返し、懐かしい気持ちでいっぱいになりながら、趣味の絵手紙を描いて送っています。

(嘉麻市漆生 坂本良子)

編集後記



(きはら)

P2では、児童虐待、P4では子どもの貧困について掲載しています。生きづらさを抱えているのに助けてと言えない子どもや若者と出会い、ともに悩んでいくことの大切さを感じました。



(みぞくち)

昨年の12月12日に雨宮処凛さんの講演を聞き、そこで出会った本を読み、今月の一冊で紹介しています。雨宮さんがおっしゃっていたとおり、戦争を身近に感じる内容で、読んだ後は何日も頭から離れませんでした。



(たけがわ)

コラム交差点の坂本さんは、ふるさとへの手紙がきっかけで、昔の友人と交流を深めていると話されていました。広報紙が人と人とながたつかる機会になっているのだと思うとてもうれしく思います。



(あかま)

ボランティア募集情報を毎号掲載しています。ボランティア活動をしたいという連絡を頂くと、いつもうれしい気持ちになります。興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。



(まる)

「今月のえがお」は、稲築体育館でバスケットボールをしている方に取材させていただきました。最初は恥ずかしそうでしたが、チームのメンバーの方の後押しもあり、良い笑顔の一枚を撮ることができました。



(ごうはら)

表紙の取材で、ニセ電話づかせ隊の方に詐欺の被害や手口について伺いました。危ないのは、「自分は大丈夫」と思うことで、被害にあわないためには近くに相談できる人がいることが大事だと知りました。

